

薄膜加工の工程を一本化

テクノプリント（ふじみ野市）

**高品質・短納期・低コストに対応する
高性能エッチング装置の開発導入**

カーナビ用ガラスタッチパネルの量産とともに、薄膜のパターン加工を事業の柱としている。薄膜とは、主にガラス基板の上に成膜されたITO（透明導電膜）等に代表される膜のこと。これを製品

エッチング加工②感光性レジストの剥離③純水リンスーの作業を施していた。一連の工程は基板のサイズによって半自動または手動に分けて行われ、その後は別のフロア

や材料の評価に使用する企業や大学などの研究機関から寄せられる薄膜のパターンや材質は千差万別。月に少なくとも50件、多いと80件の注文に応じている。



コスト減、納期短縮を実現した新開発のエッチング装置

で仕上げ洗浄をしていた。

2015年8月に導入した新装置は、インライン方式の「高性能エッチング装置」①②③の工程に加え、洗浄と仕上げ乾燥まで自動で行えるようになった。

しかも150ミ四方から500ミ四方まで全ての基板サイズに対応できる上、パターン加工の精度も飛躍的に向上した。ガラス基板なら厚さ0・2ミ（1・8ミ、薄膜は厚さ0・01ミ）0・3ミマイクロメートルまでをカバーできる。

新装置の構想は以前からあったが、コスト面からなかなか投資に踏み切れなかったのが実情という。物袋俊一取締役は「正直、（補助金に）背中を押してもらった」と語る。インライン化により全体のリードタイムを約5%、コストを約10%削減したという。

「テクノプリント株式会社」

本社工場はふじみ野市大井武蔵野1396の3。吉田正武代表取締役。1983年創立。93年に開発を始めたガラスタッチパネルが96年に世界で初めてカーナビに採用。ガラス／ガラスタッチパネルのほか、透明導電膜（ITO等）や金属膜（Ag・Cu・Al・Ti等）の薄膜パターンニング加工を試作から量産まで行っている。従業員数58人。